



# たから

～あいさつの響き合う家庭・学校・地域づくり～

## 境港の未来を考える

三中学生会のメンバーが境港市地域振興課の企画「ワークショップ」に参加しました。山本教育長がファシリテーター役を務め、他校の生徒や大学生、市役所の若手職員と境港の未来について話し合いました。

こうして自分の住む境港の課題や未来像を考えることは、中学生にとって改めて自分の将来と向き合ういい機会にもなると思います。最後には伊達市長に自分たちの考えをプレゼンしました。今回の貴重な経験を今後の学校での生徒会活動にも生かしてほしいと思います。



他の中学校の生徒と話すこともいい経験ですね



三中生がとんどさんで大活躍

## 地域の行事を記録に残す

外江町のとんど実行委員の佐々木博行さんから、今年のとんど行事のDVDをいただきました。事前準備や当日の様子が音楽付きの動画で編集されていて、そのクオリティーの高さにとても驚きました。そう言えば、コロナ禍で丁左まつりが中止だったので、4年生にDVDを観てもらったことがあります。こうして映像として残してあると、よりわかりやすいですね。今後、学習教材として活用させていただきます。

## 二十歳の集い

境港市でも民法改正に伴い、式典の名称が「成人式」から「二十歳の集い」に変更されました。成年年齢は20歳から18歳に引き下げられましたが、式典はこれまでの成人式と同様、20歳を対象として行われました。

1月5日、外江小学校に約25人の卒業生（20歳）と当時担任だった先生が集まりました。8年前にしらおの森に埋めた「タイムカプセル」を探していました。タイムカプセルは見つかりませんでした。久しぶりに会う先生や友達と楽しい時間を過ごしました。今は、それぞれが個々の道へ進んでいます。仲間と過ごした日々を思い出し、またここから新しいスタートをきってほしいと思いました。



## 伝えることの大切さ

外江小学校のPTA人権教育部が作った大きなイチヨウの木。葉っぱには、家庭から子どもたちに宛てたメッセージが書いてありました。眺めていると一人の男の子がやってきて「この中にぼくのお母さんが書いたのがあるよ」と嬉しそうに教えてくれました。どのメッセージも優しい字で『ありがとう』と書かれてありました。

文責：高梨 典子（地域学校コーディネーター）